

2010年度 小委員会活動成果報告（報告資料2）

（2010年 2月 4日作成）

小委員会名	近代建築小委員会		主 査 名：藤谷 陽悦 就任年月：2009年 4月
所属本委員会 （所属運営委員会）	建築歴史・意匠委員会		委員長名：谷 直樹 主 査 名：
設 置 期 間	2009年 4月 ～ 2011年 3月		
設 置 目 的 各年度活動計画 （箇条書き）	<ul style="list-style-type: none"> ・近代建築史研究の情報収集と意見交換の場としてのシンポジウムの開催 ・近代建築史研究の普及のための一般の人々を対象とした建築見学会の開催 ・保存・再生事例のデータベース化に関する事業の試み ・歴史的建造物の保存要望書作成マニュアルについての検討 		
委員構成 （委員名（所属））	委員公募の有無：		
	足立裕司(神戸大)、石田潤一郎(京都工芸大)、内田青蔵(神奈川大)、角幸博(北大)、千代章一郎(広大)、中川理(京都工芸大)、中森勉(金沢工大)、西澤泰彦(名大)、山形政昭(大阪芸大)、大川三雄(日大)、田所辰之助(日大)、初田亨(工学院大)、藤原恵洋(九州大)、山崎鯛介(千葉工大)、藤谷陽悦(日大)・谷川竜一(東大：オブザーバー)		
設置 WG （WG名：目的）	アジア近代建築ネットワーク 帝都復興八十周年関係史資料調査検討小委員会（2010.設置）		
2009年度予算	200,000円	ホームページ公開の有無： 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	2回（年度内計画を含む）
刊行物 （シンポジウム資料等は 除く）	
講習会	1.（名称） 参加者数 名
催し物 （シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等）	シンポジウム 「日本近代建築史研究の軌跡—『日本近代建築総覧』刊行から三十年を考える」 参加者数 174名
大会研究集会	1.（名称） 参加者数 名 （資料名）
対外的意見表明・パブリックコメント等	1.
目標の達成度 （当初の活動計画と得られた成果との関係）	<p>1. ここ数年来調査を続けてきた保存・再生事例の調査報告書を『再生名建築・時を越えるデザインⅠ』『再生名住宅・時を越えるデザインⅡ』（鹿島出版会）として刊行した。</p> <p>2. シンポジウムを予定通り実施し、定員を大きく超える来場者を得て盛況だった。『日本近代建築総覧』（1980年刊）をめぐって、1)出版に至る経緯、2)失われた近代建築、3) その後の近代建築史研究への影響、の三部構成で検証し、次年度の委員会活動への指針も得られた。</p>
委員会活動の問題点・課題	<p>1. 委員会を積極的に開いて、委員相互の意見交換を深めていきたい。</p> <p>2. 近代建築の保存活動について問題点を明確なものとし、新たな方向性を模索していきたい。</p>

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。